学校番号	119

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　改訂版「世界史Ａ」　（第一学習社）						
副教材等	新版二訂ダイアローグ世界史図表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校で学んだことを活用し、広い視野で世界の歴史を学んでいきましょう。
・歴史的な出来事に対して「なぜ」の視点を持ちましょう。
・歴史を背景とした世界のニュースに関心を持ち、現在の世界や日本について考えましょう。
・ワークシート、ノート、課題は期限を守って提出しましょう。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史への興味関心を広げる。
・世界の歴史を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら考察する力を養う。
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付けて考察する力を養う。
・レポートを作成する力や発表する力を身につけ、歴史的思考力を培う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする各国・各地域の歴史に関して興味を持ち、意欲的に課題に取り組む。また、国際社会の一員であるとともに、国家・社会を形成する日本国民であることを自覚し、その責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化をふまえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った結果を図表などにまとめている。	近現代史を中心とする世界の歴史について、基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 授業態度	定期考査 ワークシート 発表	定期考査 ワークシート ノートのまとめ	定期考査 ノートのまとめ

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない	導入 ・自然環境と歴史 ・日本列島の中の世界の歴史	○	○	○	○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った結果を図表などにまとめている。 d: 設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート ノートのまとめ 授業態度
	世界の一体化と日本	諸文明 ・ユーラシア (アジア、ヨーロッパ) ・アフリカ ・アメリカ	○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:各地域に形成された諸文明の特質と、ユーラシアの交流について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア諸文明と、それぞれの交流の特質を見出し、地域相互の文化変容と関連づけながら考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った結果を図表などにまとめている。 d:各地に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート ノートのまとめ 授業態度

1学期	世界の一体化と日本	結びつく世界と近世の日本 ・ヨーロッパの大航海時代 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界商業の展開	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:大航海時代におけるヨーロッパ各国の海外進出、ルネサンスと宗教改革、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸王朝に関する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:各時代の諸地域の特質を見出し、世界商業の展開に関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:各時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った結果を図表などにまとめている。 d:大航海時代や宗教改革が近世の日本にあたえた影響、ルネサンスと地中海貿易の関係、ヨーロッパの主権国家体制成立過程、世界経済体制の形成などについて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート ノートのまとめ 授業態度
2学期	近代の世界	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制 ・二月革命と第二帝政 ・イタリアとドイツの統一 ・ロシアの近代化	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	a:18 世紀以降の諸地域について、産業革命がもたらした社会の変化を意欲的に追究しようとしている。 b:19 世紀の世界の一体化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:18 世紀以降の諸地域の変貌に関する資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:18 世紀以降の世界の変貌に関して、世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート ノートのまとめ 授業態度

2学期	近代の世界	アジア諸国の変貌と近代の日本 ・南アジアの植民地化とインド帝国 ・オスマン帝国の衰退 ・東南アジアの植民地化 ・清の動揺 ・明治維新と東アジア ・アジア諸国の変革	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:19 世紀の世界の一体化と国際分業について、その特質を考察し、意欲的に追究する。 b: ヨーロッパ諸国の進出によって変貌したアジア諸国の状況を考察し、適切に表現する。 c: 18 世紀以降の諸地域の変貌に関する資料を活用し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:ヨーロッパ諸国による植民地化に対する抵抗運動の高まりや、日本の明治維新と近代化について考察し、知識を身につけている。	定期考査 ワークシート ノートのまとめ 授業態度
	帝国主義の時代	帝国主義の時代 ・列強の世界政策 ・第一次世界大戦 ・戦間期のアメリカとヨーロッパ ・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・日本の軍国主義と中国 ・第二次世界大戦の勃発	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:列強の世界政策がアジアやアフリカに与えた影響について考察し、意欲的に追究する。 b:第一次世界大戦の原因について、これまでの学習内容を統合して適切に表現する。 c:国際連盟の成立やヴェルサイユ体制・ワシントン体制、アジア諸国の民族運動について資料を活用し、有用な情報を選択してまとめることができる。 d:ファシズム台頭の背景や、第二次世界大戦へと至る過程を多角的に考察し、知識を身につけている。	定期考査 ワークシート ノートのまとめ 授業態度
3学期	地球社会と日本	戦後世界の出発 ・戦後のアジア ・戦後のアフリカ、ラテンアメリカ ・冷戦 ・中国の動揺とベトナム戦争	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:第二次世界大戦後の諸国・諸地域について、世界の政治・経済の動向について考察し、意欲的に追究する。 b: 戦後にあらわれた諸問題について考察し、適切に表現することができる。 c: 冷戦、アジア・アフリカの独立運動について有用な情報を選択してまとめることができる。 d:二大陣営の対立や、第三世界の台頭とその国際的役割について知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート 授業態度

3学期	地球社会と日本	持続可能な社会への展望 ・地域紛争と国際社会 ・核兵器と人類の生存 ・地球環境問題	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	a:今おこっている諸国・諸地域の問題について、日本をはじめとする国際社会に何ができるかを考察し、意欲的に追究する。 b:現代社会の諸問題や温暖化、環境破壊の原因を理解し、日本の果たす役割について考察し、適切に表現することができる。 c: 新聞記事やインターネットを活用し、国際社会の新しい動きや課題について有用な情報を選択してまとめることができる。また、自ら設定した主題について主体的な探求を継続し、歴史的視野をもって認識を深め、レポートを作成することができる。 d:二大陣営の対立や、第三世界の台頭とその国際的役割、時事問題について知識を身につけている。	振り返りシート 課題レポート 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。